お茶の水女子大学ジェンダー研究センター年報

ジェンダー研究第18号

Journal of Gender Studies

Uneasy Alliance State Feminism and the Conservative Government in Taiwan ジェンダー主流化再考 ― 韓国の事例	■特集 「変動期の東アジアにおけるジェンダー主流化――現状と新たな挑戦」 「ジェンダー主流化」の理論と実践	申 琪榮	1
### (15 年) (17 日) (1			
新自由主義的母性――「女性の活躍」政策の矛盾 三浦 まり 53 2000年代以降の新自由主義・新保守主義とジェンダー主流化 足立眞理子 69 ジェンダー政策の要としての女性運動の政治的成長 伊田久美子 71 ■研究ノート 20世紀初頭における日本人女子教員の中国派遣 加藤 恭子 73 現代日本の社会経済変化と男性人性の変容をめぐる試論 加藤 恭子 87 間場所]と「ホーム」の視点から 第谷 主知 87 日場所]と「ホーム」の視点から 第 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			
新自由主義的母性――「女性の活躍」政策の矛盾 三浦 まり 53 2000年代以降の新自由主義・新保守主義とジェンダー主流化 足立眞理子 69 ジェンダー政策の要としての女性運動の政治的成長 伊田久美子 71 ■研文ノート 20世紀初頭における日本人女子教員の中国派遣 加藤 恭子 73 現代日本の社会経済変化と男性/性の変容をめぐる試論 歳谷 圭知 87 ――「場所」と「ホーム」の視点から 張 璋容 99 ―― なぜ彼女たちは饒舌に自らを語るのか」 張 璋容 99 ―― なぜ彼女たちは饒舌に自らを語るのか」 張 璋容 103 クレア・マリィ著、『「おネエことは』論』 吉澤 京助 107 長田童子著、「バングラデシュの工業化とジェンダー 上新線企業の目標を修転 111 ―― 日系線企業の旧解を検証 215 ―― 世界の女性議員はなぜ増えたのか」 建賀 葉子 119 ―― 世界の女性議員はなぜ増えたのか」 一同性変と家族の社会学』 佐藤 美和 123 ピーター・シンガー著、児玉聡・石川涼子訳、「西女たか教える命 板井 広明 127 アイリス・M・ヤング著、同野八代・池田直子訳、「正義への責任」 鈴木亜矢子 131 根村直美著、「現代倫理学の挑戦 127 アイリス・M・ヤング著、同野八代・池田直子訳、「正義への責任」 鈴木亜矢子 131 根村直美著、「現代倫理学の挑戦 127 字住見耕一・小谷眞男・後藤玲子・原島博編集代表、「世界の社会福祉年鑑 2014」 佐野麻由子 139 ――シンボジウム開催記録 国際シンボジウム記録 研究プロジェクト「サステイナビリティとジェンダー」 館 かおる 音野 琴 143 ――ジェンダー研究センター彙報 (H25年度、H26年度) 147		翻訳 金 美珍	21
新自由主義の母性――「女性の活躍」政策の矛盾 三浦 まり 53 2000年代以降の新自由主義・新保守主義とジェンダー主流化 足立真理子 69 ジェンダー政策の要としての女性運動の政治的成長 伊田久美子 71 ■研究ノート 20世紀初頭における日本人女子教員の中国派遣 加藤 恭子 73 現代日本の社会経済変化と男性/性の変容をめぐる試論 熊谷 圭知 87 ■書評 鈴木涼美著、『AV 女優』の社会学 張 璋容 99 ― なぜ彼女たちは焼舌に自らを語るのか』 張 璋容 99 ― 公せ彼女たちは焼舌に自らを語るのか』 古澤 京助 107 長田華子著、「バングラデシュの工業化とジェンダー 本甲統治下の出生力転換と女たちの交渉」 吉澤 京助 107 長田華子著、「バングラデシュの工業化とジェンダー 大田麻希子 111 ――日系織製企業の国際移転』 115 ―――――――――――――――――――――――――――――――――――	ベトナムにおけるジェンダー政策――その実績と課題	ルオン・トゥ・ヒエン	
2000年代以降の新自由主義・新保守主義とジェンダー主流化 足立真理子 69 ジェンダー政策の要としての女性運動の政治的成長 伊田久美子 71 研究ノート 20世紀初頭における日本人女子教員の中国派遣 加藤 恭子 73 現代日本の社会経済変化と男性/性の変容をめぐる試論 熊谷 圭知 87 「場所」と「ホーム」の視点から 熊谷 圭知 87 書評 鈴木凉美著、「「AV 女優」の社会学 張 璋容 99 一なぜ彼女たちは饒舌に自らを語るのか』 おす 千鶴 103 クレア・マリィ著、「「おネエことは」論』 吉澤 京助 107 長田華子著、「ンングラデシュの工業化とジェンダー 太田麻希子 111 澤田佳世著、「職後沖縄の生殖をめぐるポリティクス 土野 瑞穂 115 三浦まり・衛藤幹子編著、「ジェンダー・クオータ 雑賀 葉子 119 三浦まり・衛藤幹子編著、「ジェンダー・クオータ 雑賀 葉子 119 三浦まり・衛藤幹子編著、「ジェンダー・ウオータ 第 葉子 119 一世界の女性流員はなぜ増えたのか」 佐藤 美和 123 ビーター・シンガー著、児玉砂・石川涼子訳、「あなたが教える命 板井 広明 127 ブイリス・M・ヤング書、同野八代・池田直子訳、『正義への責任」 鈴木亜矢子 131 根村直美書、「現代倫理学の挑戦 山木 千晶 135 宇佐見耕一・小谷眞男・後藤玲子・原鳥博編集代表、「世界の社会福祉年鑑 2014」 佐野麻由子 139 ・シンボジウム開催記録 国際シンボジウム記録 研究プロジェクト「サステイナビリティとジェンダー」 館 かおる 音野 琴 143		翻訳 雑賀 葉子	33
### 172 研究ノート	新自由主義的母性――「女性の活躍」政策の矛盾	三浦 まり	53
■研究ノート 20世紀初頭における日本人女子教員の中国派遣 加藤 恭子 73 現代日本の社会経済変化と男性/性の変容をめぐる試論 熊谷 圭知 87 ■書評 鈴木派美著、「「AV 女優」の社会学 一なぜ彼女たちは饒舌に自らを語るのか』 張 珠容 99 Alison M. Jaggar, ed., Gender and Global Justice. 中村 千鶴 103 クレア・マリィ著、「「おネエことば」論』 吉澤 京助 107 長田華子著、「レングラデシュの工業化とジェンダー 一日系縫製企業の国際移転』 115 澤田佳世者、「戦後沖縄の生殖をめぐるボリティクス 土野 瑞穂 115 三浦まり、衛藤幹子編著、『ジェンダー・クォータ 雑賀 業子 119 三浦より、衛藤幹子編著、『ジェンダー・クオータ 地界の女性議員はなぜ増えたのか』 23 ビーター・シンガー著、児玉聡・石川京子訳、『あなたが救える命 板井 広明 127 下イリス・M・ヤング著、岡野八代・池田直子訳、『正義への責任』 鈴木亜矢子 131 根村直募重を実現するための自己決定とジェンダー』 135 を見耕一・小谷眞男・後藤玲子・原島博編集代表、『世界の社会福祉年鑑 2014』 佐野麻由子 139 ■シンボジウム開催記録 国際シンボジウム副録 研究プロジェクト「サステイナビリティとジェンダー」 館 かおる 菅野 琴 143 ■ジェンダー研究センター彙報(H25年度、H26年度) 147 編集方針・投稿規程	2000年代以降の新自由主義・新保守主義とジェンダー主流化	足立眞理子	69
20世紀初頭における日本人女子教員の中国派遣 加藤 恭子 73 現代日本の社会経済変化と男性/性の変容をめぐる試論 熊谷 圭知 87 ■書評 鈴木派美著、『「AV 女優」の社会学 ―なぜ彼女たちは饒舌に自らを語るのか』 張 斑容 99 Alison M. Jaggar, ed., Gender and Global Justice. 中村 千鶴 103 クレア・マリィ著、『おネエことば』論』 吉澤 京助 107 長田華子著、『バングラデシュの工業化とジェンダー 大田麻希子 111 ――日系経製企業の国際移転』 115 ――出来観会企業の国際移転』 115 ――出来の女性強良はなぜ増えたのか』 土野 瑞穂 115 ――出界の女性強員はなぜ増えたのか』 4種 葉子 119 ――世界の女性強員はなぜ増えたのか」 4種 第子 119 ――世界の女性強員はなぜ増えたのか」 127 ――世界の貧困を終わらせるために今すぐできること』 7イリス・M・ヤング著、関野八代・池田直子訳、『正義への責任』 鈴木亜矢子 131 根村直美著、『現代倫理学の挑戦 135 ――相互尊重を実現するための自己決定とジェンダー』 山本 千品 135 字佐見耕ー・小谷真男・後藤玲子・原島博編集代表、『世界の社会福祉年鑑 2014』 佐野麻由子 139 ■シンボジウム開催記録 研究プロジェクト「サステイナビリティとジェンダー」 館 かおる 音野 琴 143 ■ジェンダー研究センター彙報 (H25年度、H26年度) 147 編集方針・投稿規程 171	ジェンダー政策の要としての女性運動の政治的成長	伊田久美子	71
20世紀初頭における日本人女子教員の中国派遣 加藤 恭子 73 現代日本の社会経済変化と男性/性の変容をめぐる試論 熊谷 圭知 87 ■書評 鈴木派美著、『「AV 女優」の社会学 ―なぜ彼女たちは饒舌に自らを語るのか』 張 斑容 99 Alison M. Jaggar, ed., Gender and Global Justice. 中村 千鶴 103 クレア・マリィ著、『おネエことば』論』 吉澤 京助 107 長田華子著、『バングラデシュの工業化とジェンダー 大田麻希子 111 ――日系経製企業の国際移転』 115 ――出来観会企業の国際移転』 115 ――出来の女性強良はなぜ増えたのか』 土野 瑞穂 115 ――出界の女性強員はなぜ増えたのか』 4種 葉子 119 ――世界の女性強員はなぜ増えたのか」 4種 第子 119 ――世界の女性強員はなぜ増えたのか」 127 ――世界の貧困を終わらせるために今すぐできること』 7イリス・M・ヤング著、関野八代・池田直子訳、『正義への責任』 鈴木亜矢子 131 根村直美著、『現代倫理学の挑戦 135 ――相互尊重を実現するための自己決定とジェンダー』 山本 千品 135 字佐見耕ー・小谷真男・後藤玲子・原島博編集代表、『世界の社会福祉年鑑 2014』 佐野麻由子 139 ■シンボジウム開催記録 研究プロジェクト「サステイナビリティとジェンダー」 館 かおる 音野 琴 143 ■ジェンダー研究センター彙報 (H25年度、H26年度) 147 編集方針・投稿規程 171	■研究ノート		
■書評 鈴木凉美著、『「AV 女優」の社会学		加藤 恭子	73
■書評	現代日本の社会経済変化と男性/性の変容をめぐる試論	熊谷 圭知	87
 第本涼美著、『AV 女優」の社会学 なぜ彼女たちは饒舌に自らを語るのか』 Alison M. Jaggar, ed., Gender and Global Justice. 中村 千鶴 カレア・マリィ著、『おネエことば』論』 吉澤 京助 107 長田華子著、『バングラデシュの工業化とジェンダー 一日系縫製企業の国際移転』 澤田佳世著、『戦後沖縄の生殖をめぐるポリティクス 一大軍統治下の出生力転換と女たちの交渉』 三浦まり・衞藤幹子編著、『ジェンダー・クオータ 世界の女性議員はなぜ増えたのか』 三部倫子著、『カムアウトする親子――同性愛と家族の社会学』 佐藤 美和 123 ピーター・シンガー著、児玉聡・石川涼子訳、『あなたが救える命 板井 広明 世界の貧困を終わらせるために今すぐできること。 大田里の貧困を終わらせるために今すぐできること。 大田里の貧困を終わらせるために今すぐできること。 大田東の責任』 鈴木亜矢子 131 根村直等著、『現代倫理学の挑戦 山本 千晶 135 宇佐見耕一・小谷真男・後藤玲子・原島博編集代表、『世界の社会福祉年鑑 2014』 佐野麻由子 139 シンボジウム開催記録 国際シンボジウム記録 研究プロジェクト「サステイナビリティとジェンダー」 舘 かおる 菅野 零 143 ジェンダー研究センター彙報(H25年度、H26年度) 147 編集方針・投稿規程 171 172 171 172 173 174 175 176 177 171	――「場所」と「ホーム」の悦点から		
Alison M. Jaggar, ed., Gender and Global Justice. 中村 千鶴 103 クレア・マリィ著、『「おネエことば」論』 吉澤 京助 107 長田華子著、『バングラデシュの工業化とジェンダー			
クレア・マリィ著、『「おネエことば」論』 吉澤 京助 107 長田華子著、『バングラデシュの工業化とジェンダー 太田麻希子 111 澤田佳世著、『戦後沖縄の生殖をめぐるポリティクス *** 土野 瑞穂 115 一米軍統治下の出生力転換と女たちの交渉』 土野 瑞穂 115 三浦まり・衛藤幹子編著、『ジェンダー・クオータ *** 一世界の女性議員はなぜ増えたのか』 雑賀 葉子 119 三部倫子著、『カムアウトする親子──同性愛と家族の社会学』 佐藤 美和 123 ピーター・シンガー著、児玉聡・石川涼子訳、『あなたが教える命 ** 一世界の貧困を終わらせるために今すぐできること』 板井 広明 127 アイリス・M・ヤング著、岡野八代・池田直子訳、『正義への責任』 鈴木亜矢子 131 根村直美書、『現代倫理学の挑戦 ** 一相互尊重を実現するための自己決定とジェンダー』 山本 千晶 135 宇佐見耕一・小谷眞男・後藤玲子・原島博編集代表、『世界の社会福祉年鑑 2014』 佐野麻由子 139 ■シンボジウム開催記録 国際シンボジウム記録 研究プロジェクト「サステイナビリティとジェンダー」 館 かおる 首野 琴 143 ■ジェンダー研究センター彙報(H25年度、H26年度) 147 編集方針・投稿規程 171		張 瑋容	99
長田華子著、「バングラデシュの工業化とジェンダー 田系経製企業の国際移転」 澤田佳世著、『戦後沖縄の生殖をめぐるポリティクス 米軍統治下の出生力転換と女たちの交渉』 三浦まり・衛藤幹子編著、『ジェンダー・クオータ 世界の女性議員はなぜ増えたのか』 三部倫子著、『カムアウトする親子──同性愛と家族の社会学』 佐藤 美和 123 ピーター・シンガー著、児玉聡・石川凉子訳、『あなたが救える命 世界の貧困を終わらせるために今すぐできること』 アイリス・M・ヤング著、岡野八代・池田直子訳、『正義への責任』 緑村直美著、『現代倫理学の挑戦 一相互尊重を実現するための自己決定とジェンダー』 宇佐見耕一・小谷眞男・後藤玲子・原島博編集代表、『世界の社会福祉年鑑 2014』 佐野麻由子 139 ■シンボジウム開催記録 国際シンポジウム記録 研究プロジェクト「サステイナビリティとジェンダー」 館 かおる 菅野 琴 143 ■ジェンダー研究センター彙報(H25年度、H26年度) 147	Alison M. Jaggar, ed., Gender and Global Justice.	中村 千鶴	103
──日系縫製企業の国際移転』 澤田佳世著、『戦後沖縄の生殖をめぐるポリティクス ※軍統治下の出生力転換と女たちの交渉』 三浦まり・衛藤幹子編著、『ジェンダー・クオータ 一世界の女性議員はなぜ増えたのか』 三部倫子著、『カムアウトする親子──同性愛と家族の社会学』 佐藤 美和 123 ピーター・シンガー著、児玉聡・石川涼子訳、『あなたが救える命 板井 広明 127 一世界の貧困を終わらせるために今すぐできること』 アイリス・M・ヤング著、岡野八代・池田直子訳、『正義への責任』 鈴木亜矢子 131 根村直美著、『現代倫理学の挑戦 山本 千晶 135 宇佐見耕一・小谷眞男・後藤玲子・原鳥博編集代表、『世界の社会福祉年鑑 2014』 佐野麻由子 139 ■シンボジウム開催記録 国際シンボジウム記録 研究プロジェクト「サステイナビリティとジェンダー」 館 かおる 菅野 琴 143 ■ジェンダー研究センター彙報 (H25年度、H26年度) 147 ■編集方針・投稿規程 171	クレア・マリィ著、『「おネエことば」論』	吉澤 京助	107
 一米軍統治下の出生力転換と女たちの交渉』 三浦まり・衛藤幹子編著、『ジェンダー・クオータ 世界の女性議員はなぜ増えたのか』 三部倫子著、『カムアウトする親子──同性愛と家族の社会学』 佐藤 美和 123 ピーター・シンガー著、児玉聡・石川凉子訳、『あなたが救える命 板井 広明 127 アイリス・M・ヤング著、岡野八代・池田直子訳、『正義への責任』 鈴木亜矢子 131 根村直美著、『現代倫理学の挑戦 山本 千晶 135 宇佐見耕一・小谷眞男・後藤玲子・原島博編集代表、『世界の社会福祉年鑑 2014』 佐野麻由子 139 シンボジウム開催記録 国際シンボジウム記録 研究プロジェクト「サステイナビリティとジェンダー」 舘 かおる 菅野 琴 143 ジェンダー研究センター彙報 (H25年度、H26年度) 147 編集方針・投稿規程 171 		太田麻希子	111
 世界の女性議員はなぜ増えたのか』 三部倫子著、『カムアウトする親子──同性愛と家族の社会学』 佐藤 美和 123 ピーター・シンガー著、児玉聡・石川涼子訳、『あなたが救える命 板井 広明 一世界の貧困を終わらせるために今すぐできること』 アイリス・M・ヤング著、岡野八代・池田直子訳、『正義への責任』 検木亜矢子 相打直美著、『現代倫理学の挑戦 山本 千晶 一相互尊重を実現するための自己決定とジェンダー』 宇佐見耕一・小谷眞男・後藤玲子・原島博編集代表、『世界の社会福祉年鑑 2014』 佐野麻由子 シンポジウム開催記録 国際シンポジウム記録 研究プロジェクト「サステイナビリティとジェンダー」 舘 かおる 菅野 琴 ゴ43 ■ジェンダー研究センター彙報 (H25年度、H26年度) 147 ■編集方針・投稿規程 	澤田佳世著、『戦後沖縄の生殖をめぐるポリティクス ——米軍統治下の出生力転換と女たちの交渉』	土野 瑞穂	115
ピーター・シンガー著、児玉聡・石川涼子訳、『あなたが救える命 板井 広明 127 一世界の貧困を終わらせるために今すぐできること』 アイリス・M・ヤング著、岡野八代・池田直子訳、『正義への責任』 鈴木亜矢子 131 根村直美著、『現代倫理学の挑戦 山本 千晶 135 宇佐見耕一・小谷眞男・後藤玲子・原島博編集代表、『世界の社会福祉年鑑 2014』 佐野麻由子 139 ■シンポジウム開催記録 国際シンポジウム記録 研究プロジェクト「サステイナビリティとジェンダー」 館 かおる 菅野 琴 143 ■ジェンダー研究センター彙報(H25年度、H26年度) 147 ■編集方針・投稿規程		雑賀 葉子	119
- 世界の貧困を終わらせるために今すぐできること』 アイリス・M・ヤング著、岡野八代・池田直子訳、『正義への責任』	三部倫子著、『カムアウトする親子――同性愛と家族の社会学』	佐藤 美和	123
根村直美著、『現代倫理学の挑戦 山本 千晶 135 宇佐見耕一・小谷眞男・後藤玲子・原島博編集代表、『世界の社会福祉年鑑 2014』 佐野麻由子 139 シンポジウム開催記録 国際シンポジウム記録 研究プロジェクト「サステイナビリティとジェンダー」 舘 かおる 菅野 琴 143 ジェンダー研究センター彙報 (H25年度、H26年度) 147 編集方針・投稿規程		板井 広明	127
──相互尊重を実現するための自己決定とジェンダー』 宇佐見耕一・小谷眞男・後藤玲子・原島博編集代表、『世界の社会福祉年鑑 2014』 佐野麻由子 139 ■シンポジウム開催記録 国際シンポジウム記録 研究プロジェクト「サステイナビリティとジェンダー」 舘 かおる 菅野 琴 143 ■ジェンダー研究センター彙報 (H25年度、H26年度) 147 ■編集方針・投稿規程 171	アイリス・M・ヤング著、岡野八代・池田直子訳、『正義への責任』	鈴木亜矢子	131
■シンポジウム開催記録 国際シンポジウム記録 研究プロジェクト「サステイナビリティとジェンダー」 舘 かおる 菅野 琴 143 ■ジェンダー研究センター彙報 (H25年度、H26年度) 147 ■編集方針・投稿規程 171		山本 千晶	135
国際シンポジウム記録 研究プロジェクト「サステイナビリティとジェンダー」 舘 かおる 菅野 琴 143 ■ジェンダー研究センター彙報 (H25年度、H26年度) 147 ■編集方針・投稿規程 171	宇佐見耕一・小谷眞男・後藤玲子・原島博編集代表、『世界の社会福祉年鑑 2014』	佐野麻由子	139
菅野 琴 143 ■ジェンダー研究センター彙報(H25年度、H26年度) 147 ■編集方針・投稿規程 171	■シンポジウム開催記録		
■ジェンダー研究センター彙報(H25年度、H26年度) 147 ■編集方針・投稿規程 171	国際シンポジウム記録 研究プロジェクト「サステイナビリティとジェンダー」	舘 かおる	
■編集方針・投稿規程 171		菅野 琴	143
	■ジェンダー研究センター彙報(H25年度、H26年度)		147
■編集後記 173	■編集方針・投稿規程		171
	■編集後記		173